事故ゼロプラン

国土交通省では、交通事故を無くして皆様が安心して暮らせる生活の基盤づくりのため、これまでに様々な取り組みを展開してきましたが、今後はその効果を科学的に検証しつつ、限られた予算の中で、効率かつ効果的で透明性の高い交通事故対策の取り組み「事故ゼロプラン」を推進します。

山形県内の国道の事故対応においては、事故の危険性が高い区間など県民の皆様と一緒に明確化し、急ぐべきところから重点的に、事故原因に即した効果の高い対策を実施するとともに、実施にあたってはマネジメントサイクル（右図）に基づき、情報を皆様に公表し意見を伺いながら、継続的に対策を行います。

◆事故ゼロプランでのマネジメントサイクル

2021年度 実施内容

○交差点改良や防護柵等の事業推進
○通学路の安全確保のための歩道や自転車の通行環境の整備
○道路情報機器及び道路案内標識等の整備

通学時の現状（国道112号山形市桜田東）

路面標示整備後（国道13号天童市老野森）

現地住民や関係機関との現地合同点検
（国道112号山形市下条）

大規模氾濫時の減災対策協議会

全国各地で度重なる洪水被害をうけ、山形河川国道事務所では人命を守り、安全安心な暮らしを実現するために、最上川上流20の市町、山形県、山形地方気象台とともに「最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会」を平成28年度に設立し、「最上川上流域の減災に係る取組方針」を策定しました。さらに、平成29年11月22日に中小河川での被害が発生したことを受け、県管理河川を取組の対象に加えることとしました。

この「取組方針」は、大規模洪水の発生に備え、『避難の迅速化』『被害の最小化』『日常生活の早期回復』を目指して取り組むべきことについてとりまとめ、市町、県、国が連携して計画的・一体的に実現していくことを目的としています。

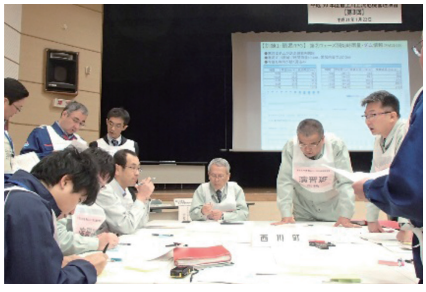
3本柱 ソフト対策

①住民が自ら安全に避難するためのリスクコミュニケーション
②被害軽減対策・避難時間確保のための水防活動強化
③生活再建・社会経済回復のための排水活動

重点取組項目

①防災意識、逃げる意識の向上
②実践的な避難訓練実施・要配慮者利用施設の避難計画作成
③水防活動効率化の推進

協議会の様子


最上川上流危機管理演習の実施
「災害対応能力の向上・豪雨災害に備える」
（村山地区市町・山形県・国土交通省）

自治会単位の防災意識の啓発
「ご近所マップ（まるまち）の見直し」
（長井市　館町南・館町北）